

「原山市民公園」への大型遊具等整備に向けた意見交換会（第1回）議事録

日 時：8月28日(月)19時～20時半

場 所：市役所3階行政委員会室

参加者：市職員3人（福祉部長、子育て支援課長、都市計画課長）

子育て関係団体4団体 5人

会場参加 2団体 3人

Zoom参加 2団体 2人

内 容：福祉部長挨拶、自己紹介、資料説明、質疑など意見交換

参：参加者、市：市担当者

参：整備対象エリアの外の古いアスレチック、ステージなどは、今回、手が加わるのか？

市：整備対象エリア外の既存施設を改修したり移設することも考えられるが、まずは、整備対象エリアに大型遊具などを整備しようとするのが第一目的のプロジェクトである。

参：遊具の整備と敷地造成で約1億円が見込まれるということか？

市：遊具の整備のみで1億3千万円を見込み、敷地造成のほか東屋、ベンチの設置などに要する事業費は別に積算する。

参：飛騨市の杉崎公園の規模では、遊具だけで1億3千万円かかるということか？

市：そのように捉えている。

参：ポップ公園、グリーンパークひろのなど既存の公園は日陰やベンチがないか、あっても少なく、遊ぶ子どもを見守っている保護者は日傘を差し立って待っていなければならないため残念という話をよく聞いている。「保護者の滞在にも配慮する」という整備方針は非常にありがたい。

参：上の子どもが遊んでいる時に、ベンチでケープをかけて下の子どもに授乳しなければならないので困るとの話をよく聞く。既存の管理棟がもったいないと感じているため、授乳室とオムツ替えもできる場所として改修してほしい。

参：既存のスライダーは夏も冬も非常に人気があるため、今回の整備後も無くさないようにしてほしい。

市：スライダーは無くす予定がない。

参：飛騨市の杉崎公園に数回行っているが、乳幼児用のエリアがあったり、車椅子でも遊べる砂場があるなど、非常に配慮されていると感じた。単に真似をするだけでなく、さらにブラッシュアップされた整備としてほしい。

参：原山市民公園の既存の水遊び場が汚くて残念である。水の濾過などはしているのかなど不安である。

参：激しい雨が降ると洪水のような状態となり、雨が止んだ後もレストラン付近にかけて地面の水はけが非常に悪いため、合わせて対策できるとありがたい。

参：まちづくり協議会では、既存のステージ部分も改修してもらえると、大人の利用のほか、高校生のバンド演奏などにも使われる機会が増えるのではとの声があった。

参：大型遊具などを設置することは決まっていて、そのコンセプトを聞いてみようという

趣旨であっているか？

市：そのとおりである。

参：市として遊び場を整備するときに大事にしたいことが何かを知りたい。子育てに関すること、子ども達の未来のこと、子育てを支援することなど、市がどのようなことを考えているか分からない。これだけ規模の大きな事業をするには、もっとそういった根本的な部分からの対話が必要だったのではないか。

参：コンセプトの選択肢はどれも楽しそうで良い内容に見えるが、自分が投票する側に立つとどれも同じ、市民の意見を反映したという形を取るだけに見えてしまう。

参：飛騨市の杉崎公園のように年齢区分でエリア分けしてあると、各年代の子ども達の遊びが守られるという反面、禁止事項が多くなり、ふざけた遊び方をすると怒られたりする。子どもたちが自由に楽しいと思って遊ぶことを大事にしたいならば、ゾーニングすることが本当に良いことだろうかと感じる。

参：保護者の交流が進む配置とあるが、配置で交流は進まないのでは。東屋は利用者が争って占有することが多く、東屋や日陰があれば交流する訳ではない。保護者の交流を進めたいなら別のアプローチが必要である。

参：こういったコンセプトだったら、ここだったら行きたいと思って、遠くからでも是非行きたいという公園となるか疑問を感じる。

参：場所と大型遊具を設置すること、コンセプトの選択肢まで市で決めてから意見を求められても、どれでも一緒になってしまうと思える。市が市民の意見を聞こうとしてくれていると感じない。本当に市民参加型の公園整備と言えるのか。

参：場所の選定から参加したかった。周囲に聞いたところ、原山市民公園は既に完成（満足）していて、もっと別の場所に違うものがあってほしいという意見が多かった。小学生が自転車で行けるのは新宮校下と南校下くらいで、これまでも恵まれていた。

参：車でアクセスすることを思えば、飛騨市の杉崎公園は高山市民でも使えるため、もっと別の種類の公園があった方が良いという考え方もある。

参：子どもたちが自主性を持ってのびのびと遊ぶことを考える上では、異年齢交流があったり、遊びが広がったり、子ども自身が工夫して危険を避けた遊び方を考えるなど、年齢別にゾーニングしないメリットもある。

参：子どもの年齢では区分けするが、インクルーシブ遊具も区分けするのかが分からない。

参：低学年の児童を想定して設計されたアンケートかもしれないが、ここまで用意されたものから選んでくださいという聞き方は子どもをバカにしているようにも受け取れる。低学年の児童でも創造性を持っており、絵でも受け付けるなど、もっと以前から子ども達の意見を聞ければ、大人が想像するよりも魅力的な公園になったのではないか。

参：今年度中に屋内型の遊び場を含む駅西整備の青写真を決めていく予定と説明があったが、そちらにも意見は言えなかったと諦めモードになってしまう。

参：今回の公園整備には、私たちの意見を反映してもらうような余地はないと受け止めるが、次回以降の施設整備に向けては、もっと初期の段階から市民の意見を聞いて反映（協議の結果不採用となってもOK）されるようであれば、子ども達が愛着の持てるまち（施設）になると考える。

参：だからこういう遊具になったのかと納得感が得られたり、市ではこういうことを大事

にしているんだと感じられる公園整備となってほしい。

参：市民の声を聴いてくれるとは感じたし、子どもが直接投票できるといったことは今後にもつながると思うが、やり方を上手くすれば、もっと良くなる可能性がある。

市：場所の選定など、もっと初期の段階から市民の声を聴き、事業に活かしてほしいといった意見はよく理解できるため、今後の取組みに活かしていきたい。

今回の事業は「スピード感」を重視し、通常であれば当初予算で事業化するところ、補正予算を組み、半年前倒し（完成は1年前倒し）して向かう必要があったため、このような形となったもの。市議会に説明した際、「広場に木が一本あれば良い」といった議員もみえ、色々な願いや考え方を皆さんお持ちで、「広場に木が一本」といった姿もあるかもしれないが、今回は原山市民公園への大型遊具等の整備についてのアイデアをいただきたい。

参：今回は補正予算で急ぎ進める必要があったとのことだが、どれ位前から取組めば十分な市民参加が確保できたかと逆算すると、2年程前から検討組織を作るなどして議論していかないと今回と同じことになるのではないかと。

団体だけではなく、子ども達や保護者の声を活かしてほしいし、高校生は対象と捉えているのかなども知りたい。

市：来年度末までに作る市の第9次総合計画などに、提案のあった「プレーパーク（禁止事項の少ない遊び場）の整備に向けて検討する」といった字句を入れられた場合、ゼロベースから対話を重ねて施設を作り上げる事例（村半など）は、これまでもあるところで、そのような手法を取ることが想定される。

参：駅西の屋内施設は。今年や来年には、内容がほぼ決まってしまう状況か？

市：駅西はずっと以前から市民対話も取り入れて検討しており、今年度、基本計画としてほぼ姿形が見えてくるようなスケジュールである。

参：モンデウスやアルコピアといった屋外施設も同様か？

市：両施設は地域の想いが非常に強いため、地域住民らの参画を得ながら支所や所管課が頻回に集まって検討している状況である。

市：市として遊び場を整備する際に大事にしていること、どんな公園を目指しているかといった質問に対し、内部で擦り合わせていないことを前提に答えさせてもらう。

子育て中の親子に、高山で子育てできて幸せ、楽しい、住み続けたいと思ってもらいたい。さもないと子どもが減り、経済が縮み、担い手が不在となり、まちの活力が低下し続けてしまう。高山の子育てってすごい、こんな良いところは他にないと思ってもらえるようなまちにしたいと思っており、そのためには公園だけではなく、様々な政策を整えていく必要があるが、まずは足りていないと多く言われる公園について、急ぎ手当てするもの。

高校生については、今回整備する遊具では遊ばないのではと考えているため、2回目の市民アンケートは中学生までの子どもを対象にする予定である。

参：子ども達を人間らしく育てられる、高山で育って良かったと思えるような公園はどうあるべきか考えてもらいたい。

現状では、親も子も考えたり楽しめていない、与えられた遊具やスマートフォンでしか遊べない。学校と保育園では、ケガするため木登りは禁止されている。与えられた遊具

で遊ぶだけでは、すぐに飽きてしまい、次の危ない遊びをしたくなる。

テレビで川崎市「子ども夢パーク」の紹介をしていたが、水と土と火が揃った、子ども達たちの縦のつながりができる、大人も楽しめるような公園が理想であり、原山市民公園もプレーパークとして整備し、支所地域にも徐々に広げていくような姿が望ましい。子ども達に遊びを教えるような「遊びのプロ（プレーリーダー）」を配置するなど、人材育成にも力を入れてもらいたい。

子ども達自身に考えさせられるような、甲斐性を育むような遊び場が重要である。

市：子どもの頃は、山へ行って年上の子ども達と危ない遊びもして楽しかった思い出がある。提案のあったような遊具は極力置かないで工夫して遊べるような公園もあって良いと思っており、予算も必要なため全部やりますとは勿論言えないが、親子が様々な市内の遊び場から選択できるような環境も整えていければと考えている。

参：原っぱがあり、坂を登れるなどのびのび遊べるため、原山市民公園を選んでもらったことは嬉しく思う。

市内に乳幼児が遊べる公園はほぼないと感じている。すべり台はロープを渡るなどレベルが高いものしかなく、子ども用ブランコでは乳幼児は遊べない。杉崎公園の赤ちゃん用ブランコは一つのみで気を使わなければならないため、複数作ってもらえるとありがたい。

暑すぎて長く遊べないので、保護者用の日陰を多く作ってもらいたいし、遊具自体も日陰で遊べるとありがたい。

授乳室や子ども用のトイレはぜひ作ってもらいたいし、子ども用のトイレには着替え用の台を設けてほしい。

都会に一度出て帰ってきた理由は、高山で子育てしたかったためだったが、自然に触れて遊ぶなどメリットを享受しきれていない。若い世代にも高山で子育てしたいと思ってほしいため、自然を活かしながら体を動かし、遊びが充実できるような公園を作ってもらいたい。

参：市民意見が反映されずに進んでいるのではという話については、昨年度までも様々な意見交換の場、アンケートなどの機会があり、多く出された意見を踏まえて今回のプロジェクトに繋がったと感じている。もっと様々な立場の人々からも意見を聞いた方が良かったということはあるかもしれないが、多くの若いお母さんには、ようやく自分たちの意見が市政に反映されたと受け止められている印象を持っている。

参：原山は松倉山、その先の飛驒の里周辺への散策も可能であり、広範囲での活用が期待できるため非常にポテンシャルがあると感じている。飛驒の里エリアの「森のエコハウス」を「ぎふ木遊館サテライト」としてリニューアルするが、「できたがこだまする」というコンセプトであり、子どもの成長により遊び方が徐々にレベルアップできるような工夫をしている。原山市民公園についても、来るたびに違う遊びに挑戦して達成感が味わえるような工夫をしてもらいたい。

木製のアスレチック遊具は、あっという間に劣化してしまうため、木質風の素材を使うなど、飛驒の山、川、まちの中で遊んでいるような、地域の良さを学べるような遊具を考えてもらいたい。

参：新宮まちづくり協議会主催の「原山フェス」では、多くの中高生が集まり、花火が上

がる頃には非常に多くの高校生で賑わっていた。BBQエリアで火が使えたり、松倉山遊歩道で大人もトレッキングできたり、上手くすれば全ての年代が楽しめる非常に魅力的なエリアになるのではないかと。

参：先程、高山は良いところと感じたり、高山で子育てする幸せを感じられるようなまちにしたいと回答があったことについて、賛同はするが、どのようにも受け取れる言葉なので、具体的な議論を深めたいと考えている。

誰かから与えられ続けるだけでは、際限なく欲が増えていくため、「与える」ことで勝負しようとしても、都会にあるような豪華なものには絶対に勝てない。

子どもが自分が幸せだ、この場所が好きだと思えるものは何かを、もっと様々な立場の人々で話し合い、掘り下げたい。そのためには、こういうものが良いのではということとを共有し、まちを考えて、まちづくりを進めていけると良いと思う。

市：市議会からは「こどもの権利条例」を整備すべきといった政策提言を受けており、今後、そのような営みをしていく必要があると考えている。

参：「広場に木が一本」の公園でも、市がそういった公園も大事にしているというメッセージになり、そういった公園を選択できるということが大事だと思う。

参：子どもが大学生になって高山を離れているが、良くない状況になっており、「苦しかったら戻っておいで」と言ってあげたいが、高山で過ごした小中学校時代の苦しさが心に残っているため地元を離れたいと強く願って出ていったため、戻ってこられないという話を聞いた。

子どもがまちを好きだ、高山が自分の故郷と感じる心がどこで生まれるかは、大人が目線とは変えて見る必要がある。市が独自の条例を作ることとなら、ぜひ議論を深めていきたいと思う。

参：9/24(日)に先程話題となった川崎市の「子ども夢パーク」の映画の自主上映会を市役所地下市民ホールで開催するので、ぜひ参加してもらいたい。

参：究極の遊び場は「広場に木が一本」で、そこでどう甲斐性を出して遊ぶかである。まずは、小さな子どもの運動神経を育てるような遊具を整備し、並行して、泥や川などでも遊べるような場所も考えていってもらいたい。

参：プロポーザル審査員は重要になるが、誰か決まっているのか？

市：まだ決めていないが、色々な意見を聞きながら検討しているところ。

以上